

急速に拡大する部品モジュール化の進捗状況を完全解明！

# 自動車産業における部品モジュール化の現況と今後の展開 2003年版



好評受付中！

2003年6月6日発刊

体裁：A4判 / 388頁  
 定価：98,000円  
 (価格は税別、送料込み)

株式会社 アイールシー

本社：〒453-0801 名古屋市中村区太閤4-4-9 TEL 052-451-8221(代) FAX 052-451-8225  
 I R C 東京：〒101-0023 東京都千代田区神田松永町7 TEL 03-3255-3461(代) FAX 03-3255-3463

<http://www.eIRC.co.jp> でも調査資料の詳細がご覧いただけます。

## 発刊にあたり

1980年代後半に欧州自動車業界で始まったモジュール化への取り組みは当初、完成車メーカーや協力サプライヤーによるサブA'ssyが一般化している我が国の自動車産業には根付かないと言われてきた。しかし、自動車メーカー間の国際的業界再編によって欧米流の経営手法が国内の自動車メーカーに導入されると、その認識も徐々に変わり始め、今やモジュール化は部品の更なる付加価値向上のための手段やコスト競争力強化の一助として注目を浴びており、メーカーによって取り組み姿勢に若干の違いがみられるものの、新車を開発するうえでの重要課題となっている。

約3年半振りの改定版となります本書では、国内自動車メーカー及び部品メーカーのモジュール化に対する取り組みを調査し、そのデータを自動車メーカー別や部位別でまとめ、国内におけるモジュール化の現況を明らかにします。また、今後の動向についても展望するほか、日本と海外におけるモジュール化への取り組みを比較するなど、国内外における部品のモジュール化について詳報します。貴社にて是非ご利用下さい。

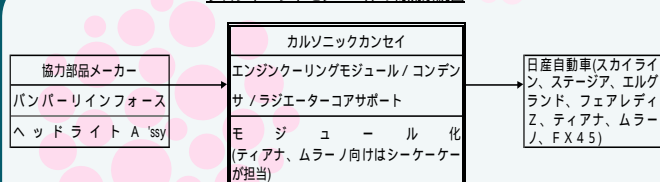
第-1表 内装品のモジュール化状況(3)

モジュール名	担当メーカー	構成部品(担当メーカー)	開始時期 自體時期	納入先(車種名)
コックピット モジュール	カルソニック カンセイ	インストA'ssy(自社)	2001年6月	日産自動車(スカイライン、ステージア、フェアレディZ、ティアナ、ムラーノ、FX45)
		メーターA'ssy(自社)		
		エアコン(HVAC)モジュール(自社)		
		ハーネスA'ssy(自社)		
		センターコントロールパネルモジュール(自社)		
		ステアリングコラム (TRWオートモーティブジャパン、他)		
		ステアリングメンバー(協力部品メーカー)		
		ベンチレーターダクト(協力部品メーカー)		
		デフロスター(協力部品メーカー)		
		ボックスA'ssy(協力部品メーカー)		
コンピネーションスイッチ (協力部品メーカー)				
次世代コックピットモジュール	カルソニック カンセイ	インストルメントアップパネモジュール(自社)	2005年予定	日産自動車
コックピットモジュール	しげる工業	インストルメントパネルモジュール(自社)	導入済み	富士重工(レガシイの上級グレード)
		インストルメントパネルモジュール(自社)		
水菱 プラスチック	しげる工業	インストルメントパネルモジュール(自社)	2004年予定	ダイハツ(商用車系) 富士重工(軽乗用車)
		ペダルモジュール(千代田工業)		
		セレクトレバー(千代田工業)		
		ステアリングビーム(千代田工業)		
		インストルメントパネル(自社)		
		デフロスターノズル(自社)		
		ルーバー(自社)		
		ガーニッシュ(自社)		
		リインフォースメント(自社)		
		グローブボックス(自社)		
センターパネル(協力部品メーカー)				
モジュール材 の活用	しげる工業	エアコン(HVAC)モジュール(自社)	2005年予定	自動車メーカー 各社
		インストルメントパネル (協力部品メーカー)		
		メーター(協力部品メーカー)		
		ステアリングメンバー、他 (協力部品メーカー)		
デンソー	クラスタモジュール、メーター周リモジュール、エアコン、インストルメントパ	開発中	トヨタ自動車、他	

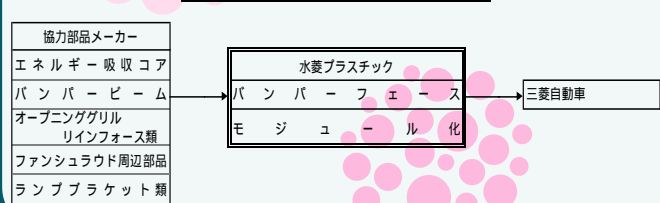
第-1表 マツダのモジュール部品採用状況(2)

モジュール名	担当メーカー	構成部品(担当メーカー)	開始時期	採用車種
定廻り部品	NTN	ホイールベアリング(自社)	導入済み	各車種
		内・外輪用フランジ(自社)		
ABSセンサ内蔵 ハブモジュール	日本精工	ナックル(自社)	導入済み	各車種
		内・外輪用フランジ(自社)		
外装部品	NTN	ハブモジュール(自社)	導入済み	各車種
		ABS車輪速度センサ(協力部品メーカー)		
ガラスモジュール	日本精工	ハブモジュール、ABSセンサ(自社、他)	導入済み	各車種
		ガラス(自社)		
フロントエンドモジュール	日本板硝子	樹脂モール(自社)	導入済み	ファミリア
		クーリングユニット、ボンネットフードラッチ、モジュールキャリア、他		
ドアモジュール	マツダ内製	キーホルダー、ワイパーモーター、ワインドレキョウレター、スピーカ、ドアロック機構、インサイドドアハンドル	2002年5月	アテンザ、デミオ
		マツダ内製		
リヤシートモジュール	デルタ工業	リヤシートA'ssy(自社)	2002年5月	アテンザワゴン
		ショルダーベルト(マツダからの支給品)		
インストルメントパネル モジュール	ジー・ピー・ダイキョー	インストルメントパネル(自社)	95年	ボンゴ
		グローブボックス(自社)		
		デフロスターノズル、他(自社)		
		メンバー(マツダからの支給品)		
内装部品	西川化成	ルーバー(マツダからの支給品)	導入済み	各車種
		インストルメントパネル(自社)		
		ルーバー(自社)		
		ドアパネル(自社)		
モジュール	西川化成	メーター(自社、協力部品メーカー)	導入済み	各車種
		デフロスターグリル(関連子会社)		
		メーター(自社、協力部品メーカー)		

フロントエンドモジュールの物流系統図



フロントエンドモジュール(検討中)の物流系統図



[ 目 次 ]

第 部 部品モジュール化の現況  
 第 章 部品モジュール化の概要  
 第 章 日本における部品モジュール化の取り組み  
 第 章 海外における部品モジュール化の取り組み  
 - 1 欧州自動車メーカーの取り組み  
 - 2 米国自動車メーカーの取り組み  
 - 3 欧米部品メーカーの取り組み

第 部 部品別モジュール化の現況  
 第 章 エンジン部品のモジュール化  
 第 章 パワートレイン部品のモジュール化  
 第 章 足廻り部品のモジュール化  
 第 章 外装品のモジュール化  
 第 章 内装品のモジュール化  
 第 章 車体電装品、用品のモジュール化

第 部 自動車メーカー別モジュール化の現況  
 第 章 トヨタ自動車のモジュール化の現況  
 第 章 日産自動車のモジュール化の現況  
 第 章 三菱自動車 / 三菱ふそうトラック・  
 バスのモジュール化の現況  
 第 章 ホンダのモジュール化の現況  
 第 章 マツダのモジュール化の現況

第 章 スズキのモジュール化の現況  
 第 章 ダイハツのモジュール化の現況  
 第 章 富士重工のモジュール化の現況  
 第 章 いすゞ自動車のモジュール化の現況  
 第 章 日野自工のモジュール化の現況  
 第 章 日産ディーゼルのモジュール化の現況

第 部 自動車メーカー別モジュール化への対応と今後の展開  
 第 章 トヨタ自動車のモジュール化への対応と今後の展開  
 第 章 日産自動車のモジュール化への対応と今後の展開  
 第 章 三菱自動車 / 三菱ふそうトラック・バス  
 のモジュール化への対応と今後の展開  
 第 章 ホンダのモジュール化への対応と今後の展開  
 第 章 マツダのモジュール化への対応と今後の展開  
 第 章 スズキのモジュール化への対応と今後の展開  
 第 章 ダイハツのモジュール化への対応と今後の展開  
 第 章 富士重工のモジュール化への対応と今後の展開  
 第 章 いすゞ自動車のモジュール化への対応と今後の展開  
 第 章 日野自工のモジュール化への対応と今後の展開  
 第 章 日産ディーゼルのモジュール化への対応と今後の展開

第 部 部品メーカー別モジュール化の現況

第 部 部品モジュール化の現況  
 第 部では、「モジュール化とは何か」その定義を明確化すると共に、日本と海外におけるモジュール化への取り組みについて過去の経緯から最新の動向を交えてまとめています。  
 第 部 部品別モジュール化の現況  
 第 部では、独自取材によって得られたモジュールの実用化例に加え、開発途中の製品をエンジン部品、パワートレイン部品、足廻り部品、外装品、内装品、車体電装品・用品に区分して、各部位ごとのモジュール化の現況と計画を明らかにします。  
 第 部 自動車メーカー別モジュール化の現況 第 部 自動車メーカー別モジュール化への対応と今後の展開  
 第 部、第 部では、自動車メーカーごとにモジュール化に対する取り組み、モジュールの採用状況・計画を明らかにし、今後の展開などを調査・報告します。  
 第 部 部品メーカー別モジュール化の現況  
 第 部では、取材対象の162社の会社概要と、各社で生産するモジュール、将来手掛けるために開発中のモジュールなど276種類のモジュール製品を掲載しています。

キ リ ト リ

申 込 方 法



フリーダイヤル

FAX 0120-020-472

電話 052-451-8221(代)  
03-3255-3461(代)

フリーダイヤルFaxをご使用になれない場合は、Fax 052-451-8246 をダイヤルしてください。また、電話による受け付けも行っております。

株式会社 アイアールシー 営業部

本 社：〒453-0801 名古屋市中村区太閤4-4-9 TEL 052-451-8221(代) FAX 052-451-8225  
I R C 東京：〒101-0023 東京都千代田区神田松永町7 TEL 03-3255-3461(代) FAX 03-3255-3463

e I R C 行 オ ー ダ ー フ ォ ー ム

弊社では見計りによる販売も行っております。通信欄に必要事項をご記入ください。

自動車産業における部品モジュール化の現況と今後の展開 2003年版 発 刊：2003年6月6日	定 価：98,000 円	部
体 裁：A4判 / 388頁		

当社の定価および予約価格（発刊までの代金前納に限る）は、消費税別、送料込み価格です。但し、海外への発送費はお客様負担となります。封筒に貼付してあります顧客ラベルで、住所・担当者変更等がございましたら、このオーダーフォームに新旧をご記入の上、ご連絡ください。

会 社 名：

住 所：〒

電 話：

F a x：

購 入 部 課：

担 当 者（氏名）：

印 フルネームで  
ご記入ください。役 職：

通 信（見計り希望など）：

自動車産業レポート

チェック

1ヶ月間の無料見本誌送付を希望 [ ]